

誤嚥予防、食事のための ポジショニング

POTTプログラム

Web動画付

迫田綾子・北出貞則・竹市美加＝著

定価2,750円(本体2,500円＋税)

医学書院 ☎03-3817-5600



ポジショニングの基本と心と技をつなぐ1冊

ナースینگホーム気の里代表 田中靖代

このほど、たんぽぽ色の表紙の書籍が届いた。なんとも温かく、優しい風が吹き上がるような印象だ。子どもの頃に見た図鑑では、「たんぽぽの花びらに見える1枚1枚が1つ

の花であり、その数だけ種が付いている。根っこは、1メートル以上も長く張ることもある」とあった。そして、寒い冬を過ぎ、春になると昨年よりもいっぱいになって登場する。

連想したたんぽぽの広がり、希望に満ちた看護・介護の未来と重なるように感じながら、書籍を手にとった。

読み取れる編著者のダイナミックな思い

「ポジショニング」と言えば、褥瘡治療としても知られている。ポジショニングによる除圧やずれからの解放、栄養状態の改善等によって、褥瘡の治療、患者のQOL向上につながる。このケアのプロセスは、生理機能を整え、安楽性を求めるものである。

食や誤嚥予防のための「ポジショニング」

にも同様のケアのプロセスがある。ただ、誤嚥を防ぐためには呼吸や意識状態、リラクゼーションした体位や環境、食事の形態、介助者の手技等、さまざまな要因を考慮しなければならないが、おそらく本書の狙いはそんな平面的なことではなさそうだ。

本書には、内容の柱である食に関わるポジショニングの基本とそこに向き合う人の心(姿勢)と技を確立させたい迫田氏らのダイナミックな思いが潜む。まるで「看護はこういうものよ」と奥深さを伝えつつ、私たち読者にエールを送ってくれているようだ。そして、すでに先を歩くPOTTプロジェクトにかかわる執筆者らが実践によってエールを支えている。私は、引き込まれるように書籍と向き合った。

多様な技術の示唆に富んだ1冊

私が出会ったジャパン・コマ・スケール(JCS)の意識レベル3桁の患者も座位でのポジショニングを実践すると開眼し、摂食嚥下の先行期の課題を改善できた。これも書

籍に記された実践の効果だ。

方法は簡単で、書籍の通りに真似すればよい。本書の内容は簡潔で分かりやすく、さらにきれいな写真が満載で動画も付いているため、実践しやすいのである。

やや大判のバスタオルで背椎や肢位を支え、足裏もクッション等に接地して安定した。この姿勢ならば、食べられそうだ。この「驚きの技」は、患者に思いをかけ続けるからこそ生まれるものである。本書には、そういった技を引き出し、多様に活用するための示唆が多くある。

ちなみに文章はおおらかに配置されており、余白のスペースに読者の質問やコメントも添えられる。この作業が書籍と読者を一体化させ、「私のオリジナル書籍」になっていくように楽しい。

とにかく、すごすぎる1冊だ。